

# 令和6年7月25日からの大雨等の被害の概況及び復旧・復興に向けた対応について

(令和8年2月12日10時現在)

※下線部は前回まとめ(令和7年11月10日10時現在)からの変更点

## 1 被害の概況

### (1) 人的被害

死者：3人(新庄市2、酒田市1) 軽傷：4人(舟形町1、新庄市3)

### (2) 建物被害(住家)

市町村	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	計
鶴岡市		9		6	98	113
酒田市	13	228		47	511	799
新庄市	1	15		7	44	67
上山市					1	1
尾花沢市	1	1			2	4
南陽市					17	17
大石田町					3	3
飯豊町					1	1
最上町		4			11	15
舟形町	1	11			12	24
真室川町		11	2	2	14	29
大蔵村		2			15	17
鮭川村	4	12		3	66	85
戸沢村		117		2	107	226
三川町					17	17
庄内町		3		3	41	47
遊佐町		113		5	59	177
計	20	526	2	75	1,019	1,642

### (3) 被害総額 約 1,116 億円

	被害額
公共土木施設	755 億円
農林水産業	332 億円
教育施設	1.8 億円
商工業関係	27.5 億円
その他施設	0.27 億円

### (4) 避難所の状況

最大開設数 22市町村138か所 最大避難者数 3,383人

※令和6年11月12日までに全て閉鎖

◇災害救助法の適用状況 16市町村

適用市町村：鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、村山市、尾花沢市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村、三川町、庄内町、遊佐町

◇被災者生活再建支援法の適用状況 3市町村

適用市町村：酒田市、戸沢村、遊佐町

### (5) 公共物等被害

①公共土木施設（道路、河川・砂防、上下水道等）の被害額 約755億円

(単位：億円)

区分	道路		河川		砂防		上下水道等		計	
	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額
県	650	97	1,053	471	66	21	3	0.4	1,772	590
市町村	252	91	73	24	0	0	19	50	344	166
計	902	188	1,126	495	66	21	22	51	2,116	755

※四捨五入の関係で合計額が合わない場合がある

### ①- 1 道路関係

◇ 県管理道路 全面通行止	3箇所	◇ 国管理道路・高速道路 全面通行止	0箇所
※規制累計 < 通行規制 >	116箇所	※規制累計 < 通行規制 >	全面通行止 20箇所
全面通行止	112箇所		

### ①- 2 河川関係

◇ 県管理河川 < 一般被害 >	被害箇所：23河川37箇所 ・越水：3河川3箇所 ・溢水：19河川29箇所 ・破堤：2河川5箇所	※令和6年8月9日に応急対策完了
◇ 国管理河川	被害箇所（越水）：2河川3箇所（最上川、鮭川）	

### ②農林水産業

33市町村で被害が発生し、農林水産被害額は332億円（確定）

### ③鉄 道

路線名等	運休区間		運休状況
奥羽本線	区間運休 (新庄駅～院内駅)	令和7年4月24日 までの間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年8月23日から新庄駅～真室川駅間でバス代行輸送開始</li> <li>・同年9月1日から院内駅までバス代行輸送開始</li> <li>・同年9月17日からバス代行輸送ダイヤ見直し</li> <li>・同年12月1日からバス代行輸送ダイヤ見直し</li> <li>・令和7年4月25日に鉄道による運行再開</li> </ul>
陸羽東線	区間運休 (新庄駅～鳴子温泉駅)	当面の間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年8月23日からバス代行輸送開始</li> <li>・同年9月17日からバス代行輸送ダイヤ見直し</li> <li>・令和7年1月14日からバス代行輸送ダイヤ見直し</li> </ul>

## 2 復旧等に向けた支援・取組みの状況

### (1) インフラの復旧状況

①公共土木施設の災害復旧工事の進捗状況

※令和8年1月31日時点

工種	査定件数	契約件数	契約率
道路関係	148	<u>134</u>	<u>90.5%</u>
河川関係	501	<u>325</u>	<u>64.9%</u>
合計	649	<u>459</u>	<u>70.7%</u>

※道路関係は道路及び下水道等、河川関係は河川及び砂防の合計。※県発注工事のみ。

②農地・農業用施設及び森林関係の復旧状況

※令和8年1月31日時点

区分	被害面積 又は 箇所数	完了済	執行中	未執行	執行率
農地・農業用施設 (復旧割合)	—	<u>84%</u>	<u>13%</u>	<u>3%</u>	<u>97%</u>
農地	1,344ha	<u>1,113ha</u>	<u>211ha</u>	<u>20ha</u>	<u>99%</u>
農業用施設	3,167箇所	<u>2,703箇所</u>	<u>350箇所</u>	<u>114箇所</u>	<u>96%</u>
森林関係 (復旧割合)	—	<u>82%</u>	<u>7%</u>	<u>11%</u>	<u>89%</u>
林地・治山施設	117箇所	<u>95箇所</u>	<u>22箇所</u>	<u>0箇所</u>	<u>100%</u>
林道施設	498箇所	<u>408箇所</u>	<u>22箇所</u>	<u>68箇所</u>	<u>86%</u>

## (2) 避難者等への支援

### ①避難者の住居対応

< 応急仮設住宅等の入居世帯数 >

		ピーク時(A) R 6 年10月22日時点	現状(B) R 8 年 2 月 1 日時点	退去世帯数 (A)-(B)
合計		1 3 5	<u>9 1</u>	<u>4 4</u>
内 訳	鶴岡市	1	0	1
	酒田市	6 3	<u>3 0</u>	<u>3 3</u>
	舟形町	1	1	0
	真室川町	3	<u>1</u>	<u>2</u>
	鮭川村	1 1	1 0	1
	戸沢村	5 3	<u>4 9</u>	<u>4</u>
	庄内町	2	0	2
	遊佐町	1	0	1

< 被災者の仮住まいの状況（住まいの種別別入居世帯数） > ※令和8年2月1日時点

被災者市 町村	応急仮設住宅		公営住宅等		県職員 公 舎	計
	建設型	賃貸型	市町村営等	県営		
鶴岡市	－	－	0	0	0	0
酒田市	－	7	<u>1 6</u>	5	2	<u>3 0</u>
舟形町	－	－	1	0	0	1
真室川町	－	－	<u>0</u>	1 (※1)	0	<u>1</u>
鮭川村	8	－	－	2 (※2)	0	1 0
戸沢村	<u>2 7</u>	1 3	<u>9</u> (※3)	0	0	<u>4 9</u>
庄内町	－	－	0	0	0	0
遊佐町	－	－	0	0	0	0
計 (入居人員)	<u>3 5</u> ( <u>7 1</u> )	2 0 (5 0)	<u>2 6</u> ( <u>7 1</u> )	8 (1 3)	2 (3)	<u>9 1</u> ( <u>2 0 8</u> )

※1 入居先：村山市内の県営住宅

※2 入居先：新庄市内の県営住宅

※3 舟形町内の町有住宅1世帯を含む

## ②被災者（要配慮者等）の健康管理について

### ◇市町村の対応状況

- ・現在も酒田市、鮭川村、戸沢村、遊佐町では、市町村の保健師等が、公営住宅や仮設住宅等に入居の要配慮者を定期的に訪問し、健康観察を実施。

### ◇県の対応状況

- ・発災直後から、被災者の救護や健康管理対応のため、DMATやDHEAT、保健師、管理栄養士、災害支援ナース、JDA-DAT（日本栄養士会災害支援チーム）、やまがたJRAT（山形県災害リハビリテーション推進協議会）、日本赤十字社こころのケア班を関係機関と連携し避難所等に派遣。（令和6年10月下旬まで）
- ・最上及び庄内保健所では、適宜、現在の市町村の支援状況の聞き取りを行い、引き続き相談に応じる体制を整えている。

## ③被災者相談・見守り支援

### ◇市町村の対応状況

- ・酒田市 市社会福祉協議会と連携し、令和6年11月1日から「被災者生活支援・地域支え合いセンター」を設置し、被災者の孤立防止等のための見守り、日常生活や生活再建の相談、関係支援機関へのつなぎ等の支援を実施。
- ・戸沢村 村社会福祉協議会と連携し、令和6年11月18日から「ささえあいステーションとざわ」を設置し、被災者の孤立防止等のための見守り、日常生活や生活再建の相談、関係支援機関へのつなぎ等の支援を実施。
- ・鮭川村 被災者に対して定期的にアンケートにより意向確認を行い、個別に再建に向けた相談支援を実施。また、住まい等に関する支援制度の説明会や被災者との話し合いの場を設定。

### ◇県の対応状況

- ・発災直後から、各部局等において被災者などからの個別相談に対応。
- ・令和7年4月、被災者・避難者支援室を設置し、一元的な相談窓口を開設。
- ・市町村や関係社会福祉協議会と被災者支援についての意見交換・助言を実施。

#### ④災害ボランティア関係

##### 【県】

◇令和6年7月25日 山形県災害ボランティア支援本部設置

※令和6年11月3日閉鎖

##### 【市町村】

◇災害ボランティアセンターの運営状況及びボランティア活動状況

※令和6年11月27日 災害ボランティア活動終了

市町村名	ボランティアセンター運営期間	ボランティア活動状況（延べ人数）※団体+個人
鶴岡市	7月28日～8月9日	65人
酒田市	7月27日～10月31日※	7,900人
新庄市	7月29日～8月19日	55人
最上町	7月31日～8月30日	28人
鮭川村	7月25日～8月23日	195人
戸沢村	7月26日～10月31日	2,790人
庄内町	7月30日～8月31日	73人
遊佐町	7月26日～10月31日	725人
合計		11,831人

※閉鎖後、酒田市被災者生活支援・地域支え合いセンターに業務を移管

#### ⑤災害廃棄物に係る対応

災害廃棄物（公費解体を含む）の発生量 約17,000トン（見込み）

##### ◇市町村の対応状況

###### (1) 仮置場の設置

8市町村17か所設置（鶴岡市、酒田市、新庄市、大蔵村、鮭川村、戸沢村、庄内町、遊佐町）

※令和7年7月31日までに全て閉鎖

###### (2) 災害廃棄物（公費解体を除く）の処理

概ね完了 ※酒田市、鮭川村、遊佐町では、県と関係団体との災害協定を活用

###### (3) 公費解体の実施

4市町村（酒田市、尾花沢市、舟形町、鮭川村）で77棟実施し完了

##### ◇県の対応状況

- ・災害廃棄物の国庫補助（環境省）について、引き続き市町村への支援・助言を実施
- ・県内市町村を対象に災害廃棄物仮置場設置訓練を実施（令和7年6月20日）

## ⑥義援金関係

◇令和6年7月29日（月）12時から県庁ロビー、各総合支庁、県立図書館、文翔館、やまぎん県民ホール及び山形県アンテナショップ「おいしい山形プラザ（東京都内）」に募金箱を設置し、義援金の受付を開始。

◇令和6年8月1日（木）からは、専用の銀行口座への振込（ATM及びインターネットバンキングも利用可能）による義援金の受付を開始

【受付金額（確定）】 計3億9,009万3,500円 ※令和7年3月31日（月）で受付終了。

・令和6年10月1日（火）、義援金配分委員会（第1回）を開催し、人的被害及び住家被害があった17市町村へ総額1億2,320万円の第1次配分を決定。

・令和6年12月9日（月）、義援金配分委員会（第2回）を開催し、人的被害及び住家被害があった17市町村へ総額1億6,633万円の第2次配分を決定。

・令和7年6月13日（金）、義援金配分委員会（第3回）を開催し、人的被害及び住家被害があった17市町村へ総額1億56万3,500円の第3次（最終）配分を決定。

◇令和6年7月29日(月)から、ふるさと納税ポータルサイトで寄附の受入れを開始。

【受付金額（令和7年3月末受付終了）】 計9,044,150円

## （3）生業・就業支援

### ①商工業への支援

◇大雨被害特別金融相談窓口の設置（7/26）

・産業労働部商業振興・経営支援課内に「大雨被害特別金融相談窓口」を設置し、面談又は電話により各種相談に対応 相談件数6件（令和8年2月1日時点）

◇山形県商工業振興資金（経営安定資金第4号）の対象となる災害の指定

・災害救助法の適用を受けた市町村を対象に、令和6年7月25日からの大雨による災害を指定（指定期間：令和6年7月26日から令和8年3月10日まで）  
認定件数10件（令和8年2月1日時点）

◇被災中小企業の事業再建支援

・災害救助法の適用を受けた市町村等に事業所を有する中小企業・小規模事業者が行う施設・設備の復旧など事業再建の取組みを支援する補助事業を実施  
交付決定事業者数 51件（令和6年度実施分）  
交付決定事業者数 14件（令和7年度実施分／令和8年2月1日時点）

◇観光における正確な情報発信、宿泊施設支援のための割引クーポン発行

・道路状況や各種交通機関の運行状況、移動手段や経路等について、県公式観光サイト「やまがたへの旅」や各種SNSにより情報発信  
・県外事務所や（公社）山形県観光物産協会と連携し、首都圏・中京圏・関西圏の旅行会社を訪問し、本県の観光施設の現状や交通アクセス等について情報提供  
・最上・庄内地域の宿泊施設を対象に、3,000円/人泊の割引クーポンを15,000人泊分発行（実施期間：令和6年12月16日から令和7年3月31日まで）

## ②農林水産業への支援

- ◇農林水産部農政企画課及び各総合支庁産業経済部農業振興課に、「令和6年7月25日からの大雨による農作物等被害に関する農林水産関係総合相談窓口」を設置（令和6年7月29日～）相談件数 26件
- ◇「農作物の大雨・浸冠水等に関する技術対策」について、関係団体（JA等）に情報提供、及び農業情報サイト「やまがたアグリネット（あぐりん）」で情報発信（令和6年7月26日）
- ◇農地中間管理機構が仲介する被災農地の賃貸借料の支払猶予（令和6年7月31日）  
支払猶予実績：16件、2,042千円（令和8年1月31日時点）
- ◇小規模農地等災害緊急復旧対策等の農林水産物等災害対策事業（令和6年8月8日発動）  
支援実績：3,610箇所、377,474千円（令和8年1月31日時点）
- ◇農林漁業天災対策資金等の発動（令和6年8月8日発動）により被災農家等の資金繰りを支援 貸付実績：15件、50,665千円（令和8年1月31日時点）
- ◇農機具被害に対する支援を拡充する等メニューの見直し（令和6年11月7日）  
支援実績：486件、112,906千円（令和8年1月31日時点）

## （4）応援職員派遣

### ①被災市町村市町村及び総合支庁等への短期職員派遣

派遣職員	派遣先	派遣期間	派遣職員数	業務内容
事務職員	酒田市	・8/7～8/16(9日間)	延べ90名(県) 延べ112名(市町村)	住家被害認定調査
事務職員	戸沢村	・8/6～8/7(2日間) ・8/2～8/8(7日間) ・8/27～10/31(45日間)	延べ4名(県) 延べ14名(市町村) 延べ45名(県)	住家被害認定調査 災害支援金及び家電製品購入支援事務等
農業土木関係職員	最上・庄内 総合支庁	・7/26～12/20 (101日間)	延べ709名	現地調査、技術的な助言等の市町村支援業務
土木関係職員	最上・庄内 総合支庁	・7/30～12/20 (99日間)	延べ1,521名 (県外からの応援職員延べ320名を含む)	関係機関との調整 被災箇所の復旧 管内市町村との調整、助言
建築職員	酒田市 戸沢村	・8/19～9/6、9/30～10/11 (21日間) ・8/26～10/11(33日間)	延べ21名 延べ33名	住宅相談窓口での相談受付、対応
林務職員	最上総合支庁 庄内総合支庁	・8/5～8/23(15日間) ・9/9～9/24(10日間) ・11/11～11/15(5日間) ・12/9～12/20(10日間)	延べ43名 延べ20名 延べ9名 延べ22名	現地調査、復旧方法検討、技術的な助言等の市町村支援業務 電子データによる実施設計書の詳細確認等
計			延べ2,643人	県、市町村、県外応援含む

## ②長期職員派遣（他都道府県⇒県、県⇒被災市町村）

派遣職員	派遣元	派遣先	派遣期間	派遣職員数	業務内容
土木関係職員 （中長期派遣）	北海道 青森県 宮城県 東京都 熊本県	最上総合支庁 庄内総合支庁	令和6年10月21日～ 令和7年3月31日 （約5か月間）	8名	災害復旧工事関係業 務
土木関係職員 （長期派遣）	東京都 宮城県	最上総合支庁	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日 （1年間）	2名	災害復旧工事関係業 務
事務職員	山形県	戸沢村	令和7年1月1日～令和8 年3月31日 （1年3か月）	2名	防災集団移転事業関 係業務
計				受入 8名（中長期） 受入 2名（長期） 派遣 2名	